

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年07月01日

計画の名称	明石市における「緑豊かな安心・安全のまちづくり」(防災・安全)												
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	明石市												
計画の目標	都市公園の老朽化した公園施設の改修及び既存公園施設のバリアフリー化、耐震化を行うことにより「緑豊かな安心・安全のまちづくり」を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	428	A	428	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	平成30年度までに、3箇所において公園施設のバリアフリー化を行い、バリアフリー化が完了した公園施設の割合を66%から100%にする。 都市公園移動等円滑化基準に準拠した総合、地区、近隣公園の公園の割合：66%(H25末)→100%(H27末) 都市公園移動等円滑化基準に準拠した都市公園数/都市公園移動等円滑化基準に準拠させる必要のある都市公園	66%	100%	100%
2	平成30年度までに、災害時に救護活動の拠点となる施設1箇所において耐震化率を0%から100%にする。 災害時に救護活動の拠点となる施設の耐震化率：0%(H27)→100%(H29) 災害時に救護活動の拠点となる耐震化された施設/災害時に救護活動の拠点となる施設	0%	0%	100%
3	平成31年度までに、31箇所において公園長寿命化計画に基づく公園施設の改築を行い、改築が必要な公園施設の割合を8%から0%にする。 老朽化等により改築及び修繕の必要な施設のある都市公園の割合：8%(H25末)→0%(H30末) 処分制限期間を越えた施設及び長寿命化計画策定により危険と判断された施設のある都市公園の割合	8%	0%	0%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>
-----	-----------	-----------------------	----------	--------------------------	----------	--------------------------	------------	--------------------------	------------	--------------------------	-----------	--------------------------

案件番号： 0000227929



事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制  
明石市において実施

事後評価の実施時期

令和元年

公表の方法

市のホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

平成26年度、27年度に実施した、明石海浜公園、石ヶ谷公園、西二見公園のトイレ及び園路の改築により、市内の総合、地区、近隣公園において策定した明石市都市公園バリアフリー化計画上、都市公園移動等円滑化基準に準拠させる必要のある都市公園のバリアフリー化が完了した。  
明石中央体育会館の耐震補強工事を実施し、災害時の救援活動の拠点となる施設の耐震化が完了した。  
明石市公園施設長寿命化計画に基づき、遊具及び公園施設の改築を行い、老朽化等により改築の必要な施設のある都市公園の割合が減少した。  
以上のことにより、公園の安全性、快適性が向上した。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

明石市都市公園バリアフリー化計画では、市内の総合、地区、近隣、19公園のうち9公園を都市公園移動等円滑化基準に準拠させる必要のある都市公園と位置付け改築工事を実施した。残る10公園については施設改築時にバリアフリー化を図ることとしているため、今後、改築時期を見定め、より安全、安心、快適に公園が利用できるよう改築を行っていく。  
災害時に救援活動の拠点とならない公園施設について、耐震化の必要性を改めて検討し必要に応じて耐震化を図る。  
本計画による成果や未実施事業を総括し、改めて公園施設長寿命化計画の見直しを行い、今後も継続して計画的な施設の改築・更新を行うことで、安心・安全で防災性の高い緑豊かなまちづくりを進めていく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	バリアフリー化完了公園の割合	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	災害拠点施設の耐震化率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
3	改築等が必要な公園施設の割合	
	最終目標値	0%
	最終実績値	1%
		公園施設長寿命化計画に基づき、遊具の更新、施設の改築を進めてきたが、未だ5公園で改築が必要な施設が残っているため目標値を達成できなかった。

